

「ICT地域活性化大賞2016」表彰事例 応募様式

1 事例の実施主体の概要

実施主体 (応募者又は 被推薦者)	名称：(例) ○○県○○町 住所：
実施主体の長	役職： 氏名：
実施主体の 連絡先	所属： 担当者氏名： 電話番号： メールアドレス：
実施主体の 概要	(例) 自治体の概要等 (人口や取り巻く環境など)
推薦者の連絡 先及び理由 (推薦の場合 のみ)	推薦者名： 住所： 担当者氏名： 電話番号： メールアドレス： 【推薦の理由】

2 地域情報化事例について

事例名	(30字以内)
取組の概要	(取組に至る背景(課題等)・目的・具体的内容などを簡潔に記入。なお、詳細は「3 取組のポイント」へ記入。)
取組の全体概要図	(B6横で印刷した際に、文字が確認できること)
財源	(国、都道府県の施策の活用の有無等を記入)

3 取組のポイントについて

ICT利活用	(ICTを効果的に利活用していることやICTの寄与度が大きい取組であることを記入)
継続性・発展性	(一過性のものではなく、必要不可欠な取組であることを記入)
地域への密着度	(行政の支援だけではなく、地元企業・金融機関等とも連携している取組であることを記入)

住民の関心・参画状況・役割	(地域にとって、押しつけ的取組ではなく、住民が必要と認識している取組であることを記入)
取組の成果	(想定していた課題が解決されていることを記入。及び、住民の満足度、地域経済の活性化、雇用の創出、新たな地域文化の創造、地域の知名度やイメージの向上等の地域活性化に資する取組であることを記入。なお、新しい取組については見通しを記入(〇〇の見込み。等)。また、具体的数値として説明できるものは、次欄の費用対効果に記入。)
費用対効果	(取組事業構築に要した経費、ランニングコスト、効果(人口増、進出企業数、雇用数、収穫量など取組前と実施後が比較できるように記入。なお、経費について、国や県などの補助等があれば、自主財源を含め内訳が分かるように記入。)
今後の取組予定	(取組の継続性・発展性、規模の拡大性、今後の新たな取組等について記入)
その他	(特にアピールしたい事項や、取組を実施する上で苦労した点等を記入。なお、関係資料を掲載したURL、写真・映像、新聞・雑誌記事などがあれば、添付。) ※独創性・先進性、横展開(分野横断、地域間の広域連携)については、応募資料全体から審査いたしますが、明記できる場合はアピールしたい事項としてこちらに記入ください。

注) 記入に当たって、専門用語等を使用する場合は、簡潔に説明を付記すること。

また、取組のポイントを様式2により概要版として作成すること。

資料の総枚数は、A4版7枚(様式1:4枚、様式2:1枚、写真等2枚)とします。